



SANJO ROTARY CLUB

三条ロータリークラブ

週報 No. 31

2023.4.26(No.3154)

再生・新生・共生

第2560地区ガバナー／高橋 秀樹
 会 長／西山 徳芳
 会長エレクト／吉井 直樹 (クラブ奉仕A)
 副 会 長／野崎喜一郎
 幹 事／梨 本 次 郎
 S A A／石黒 良 行
 会 計／五十嵐博宣
 直前会長／歸 山 肇
 会長ノミニ／渡 辺 良 一 (クラブ奉仕B)

例会日／毎週水曜日 12:30～
 例会場及び事務局／
 三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内
 例会場／TEL 34-3311
 事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095
 E-mail: sanjo-rc@cpost.plala.or.jp
 http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/
 (~はshiftを押しながら“へ”のキーを
 押してください)

■本日の出席会員数:56名中47名
 ■先々週出席率:85.45%

【ゲスト】

- ・三条商業高等学校
 校長 徳永和教 様

【先週のメイクアップ】

- [4.19] 地区研修委員会
 第1回研修小委員会(三条)へ
 ・関川 博さん、石黒良行さん、
 ・早川滝徳さん
- [4.22] 新発田RAC
 創立50周年記念式典へ
 ・相場弘介さん
- [4.22] 雪国魚沼RC
 創立60周年記念式典へ
 ・西山徳芳さん、吉井直樹さん
- [4.22] 米山記念奨学生
 オリエンテーション歓迎会(新潟)へ
 ・石黒良行さん
- [4.23] 長岡西RC
 創立40周年記念式典へ
 ・西山徳芳さん



2022～2023 年度国際ロータリーのテーマ



会長挨拶

西山徳芳 会長



徳永和教校長先生、卓話ありがとうございます。

田久保 良さん、今日からロータリークラブライフが始まります。楽しんでください。

～河川流通と商業～

エゴ練と言うとわからない人が多いと思います。エゴ練とは、海藻のエゴ草からできるゼリー状の巻きもの、食べ物です。これは新潟の名物で特に佐渡が名産地です。海で良いエゴ草という海藻が取れるので当然そうなるわけですが、取れる所と美味しい所が違うということがあります。海藻は流通するために天日で干し、乾かした上で、痛みにくく、かつ量を小さくして、運びやすいようにします。長期保存もきくということになりますと、海から遠い所に運ばれます。どこに行くんだらうと思いましたが、長野県や福島県に多く運ばれ、消費されます。一度、長野県の温泉で偽装事件があり、宿泊客が激減したことがあります。その年のことですが、知り合いの乾物屋さん、上等なエゴ草が大量に余っているので買って欲しいと言われました。佐渡産のものにも負けない、栗島産の最も上等な

ものが安く売っていました。長野は海から遠いので海産物を消費するというと塩蔵物か乾物になるわけです。長野で売れなかった分、私には福が授かりました。又、福島のことですが、新潟市内のお寿司屋さんで福島県の方の話聞く機会がありました。お葬式の後にお齋には必ずエゴを食べるそうです。福島の名物に身欠きニシンを使ったニシンそばがやはり名物ですが、エゴと同じく軽く運びやすいものは歓迎されるようです。

江戸時代においては、物流は河川を中心にして行われ、お米や消費物資の多くは、馬や人の背中により、河川を中心にした物流であったようです。大きな川にはもちろん大きな船ですが、五十嵐川のような小さな河川でも積み替えの川湊として魚沼や八木前あたりまで、もちろん船はだんだん小さくなりますが、上がったんだそうです。その後は人馬に運ばれ、八十里越を超えて、南会津まで物資は運ばれたようで、福島からは養蚕を中心にした生糸などが新潟には多く来ていたようです。河川を中心にした物流は当時の戦にも重要で、兵たんは(ロジスティック)には必須なもので、重く、大量の軍事物資も川を通じて運ばれたようです。近くは幕末の長岡の戦いにおいても、信濃川は重要な役割を果たしたようです。三条は重要な物流の拠点都市。また、軍事拠点としても抑えなければならない重要な地点だったようです。それだけに支配においては幕府だけでなく、天領、寺社領、村松、村上藩と分割統治したようです。

やがてくる三条祭りも、村上藩のお祭りということですが、昔から、分けて統治しなければならなかった町だったからでしょうか。

現在、物流はトラックや鉄道を利用しているのが川という括りはなくなりました。

ですが、当時の三条町は川を起点に物資が集まるので、それを売りさばくのに算用という算盤と商才をもつ卸商人が活躍し、商業の盛んな町になったのは理にかなっています。

エゴ草という食べ物を通じて河川流通は重要だったという話です。

ちなみに、エゴは銅製の鍋に水とたっぷりの日本酒をいれ強火で炊き上げ、冷たく冷やし、暑い日に飲むお酒のあてには最高です。

幹事報告

梨本次郎 幹事



◎米山ガバナーエレクト事務所より

「2023-24年度ロータリー防減災セミナーのご案内」

日時 6月10日(土) 受付 13:00～

セミナー 13:30～17:00

場所 長岡市立中央公民館(さいわいプラザ)

◎柏崎RCより

「創立70周年記念式典ご臨席の御礼」

◎次週 5月3日(水)は祝日のため休会です。

次の例会は5月10日(水)です。

ニコニコBOX

西山徳芳会長

我家の近く、井栗の万葉の藤の花が咲きました。甘い香を漂わせています。

徳永和教校長先生、卓話ありがとうございます。

吉井直樹さん

ゴールデンウィークを前に楽しみが多く企画されています。

本日の卓話、宜しくお祈りします。

梨本次郎さん

昨日、人間ドックに妻と一緒にに行ってきました。

二人とも異常なしで安心しました。

小林吾郎さん

たけのこの季節になりました。今年は少し早いようです。

渡辺良一さん

今日からのメンバー 田久保 良さん、ようこそ！

徳永校長、卓話よろしくお祈り致します。

田久保 良さん

松平の後任で着任しました。これからよろしくお祈り致します。

小出子恵出さん

隣ホツのう抱ホツが見つかり落込んでいましたが、「がん」ではなかったのでホッとしています。

荻根澤隆雄さん

松永一義会員、ご苦労様です。

徳永様ありがとうございます。

齋藤弘文さん、 中林順一さん、 安達俊明さん、
小林卓哉さん

よいことがありました。スマイルボックスに協力
いたします。

石倉政雄さん、 五十嵐晋三さん、 衛藤泰男さん、
石橋育於さん、 高橋 司さん、 丸山行彦さん、
小越憲泰さん、 金子俊郎さん、 杉山幸英さん、
歸山 肇さん、 若槻八十彦さん、 山田富義さん、
中村和彦さん、 齋藤真澄さん、 松永一義さん、
明田川賢一さん、 柳取崇之さん、 長谷川 徹さん、
落合孝夫さん、 嘉瀬一洋さん、 松永隆夫さん、
渡部 宏さん、 野水靖之さん、 早川滝徳さん、
船越良則さん、 石黒良行さん、 関 義実さん、
長谷川正実さん

徳永和教様を心より歓迎申し上げます。本日は
卓話ありがとうございます。お話楽しみにして
おります。

4月26日分 ￥ 41,000
今年度累計 ￥ 1,114,000

< 新会員紹介 >



氏 名 田久保 良(たくほりょう)
会 社 名 東京海上日動火災保険(株) 新潟支店 長岡支社
役 職 名 課長
住 所 長岡市旭町2-1-5 長岡東京海上日動ビルディング
趣 味 ラーメン食べ歩き

安達俊明
社会奉仕委員長より

「トリムの森 草刈り」
参加ご協力をお願い



日 時 6月3日(土) 午前7時より
集合場所 トリムの森

※ 雨天決行とさせていただきます。
各自雨具のご用意をお願いいたします。
※ 当日の参加はメイクアップ扱いになります。

「卓 話」



三条商業高等学校
校長 徳永和教 様

今回の卓話は、三条商業高等
学校校長の徳永和教様よりお越し
頂き、学校紹介を主にお話下さい
ました。

三条商業高校は明治44年4月15
日に創立。現在生徒数は394名。三条市をはじめと
して近隣の燕市・加茂市、そして見附市・長岡市・
新潟市からの生徒も在籍し、幅広く生徒交流ができて
いる。学科は総合ビジネス科のみの専門高校として
、今年度創立113年目を迎えた。

徳永校長は冒頭、これからの社会の在り方につい
て「全く不透明の社会が予想されているが、そんな
中で、地域産業をはじめとする経済社会に於いて、
健全かつ持続的な発展を担う職業人の育成が必要で
あると言われている。その為には産業界をはじめと
する地域や学校が、それぞれの役割で連携し、きめ
細やかな指導で生徒達を一人前の社会人として育て
ていくことが益々重要であり、学校教育を通して、
より良い社会を造ることを目標としていかなければ
ならない」とお話されました。

そこで、三条商業高校は教育目標として次の3つを
掲げている。

1. 主体的に学ぶ態度を身につけ、地域発展に
寄与する実践力を育むこと。
2. 多様性を尊重する態度を身につけ、自他を
大切にすする心を育むこと。
3. 社会性等の向上を図り、円滑な人間関係を
構築する力を育むこと。

そして、この教育目標に対して3つのキーワードを
掲げ、教育活動を実践している。

1. 地域連携。
2. 国際理解教育。
3. コミュニケーション能力。

「地域連携」に於いては、カリキュラムの中で
「プランニング」という科目があり、生徒達が数名
のグループをつかって、商品を企画・発案。それを
実際に作り、形にしてくれそうな地元企業を探して、
直接プレゼンテーション。アドバイスを受け、試行
錯誤を繰り返しながら実際に商品化。文化祭や三条
マルシェ等で販売する。といった活動や、燕三条工
場の祭典見学、例年実施している地元企業へのイン
ターシップ等々、様々な形で地域理解と地域連携を
図っている。

「国際理解教育」に於いては、通常の英語授業の他に、第二外国語を身につける為の「近隣国探究」というカリキュラムが存在し、「韓国語・中国語・ロシア語」の中から一言語を選択して学ぶことができる。また実践活動の一環として、新潟県国際交流協会の留学生交流推進員(中国)の方や、新潟経営大学や長岡大学で中国語を教えている講師など、様々な外部講師による講演活動や、県国際理解教育プレゼンテーションコンテストへの出場で見事「審査員奨励賞」(令和3年度)、「優秀賞」(令和4年度)を受賞するなど、積極的に国際理解に繋がる教育活動を実践している。

「コミュニケーション能力」に於いては、「地域連携」活動の一環である地元企業へのプレゼンテーション。「国際理解教育」活動の一環である国際理解教育プレゼンテーションなど、コミュニケーションを必要とする実践形式の活動を経験することで、能力向上を図っている。

また、三条商業高校の特色の一つとして、日本商工会議所の簿記検定や、全国商業高等学校協会の主催検定など、様々な資格検定にチャレンジしており、多くの検定を取得した学生には表彰し、推薦進学へのステップとしている。

そして現在の進路状況としては、専門高校故に就職が多いイメージを持たれているが、昨年度は専門学校を含む大学・短大への進学が全体の約8割。残りの2割が就職を選んでおり、その中でも近年は事務職よりも製造業へ関心を持った学生が増えてきているとのこと。

最後に、「三条商業高校の学生達は明るく一生懸命。そして挨拶が良いと評価頂いています。これからも「地域連携」「国際理解」「コミュニケーション能力」の3つのキーワードを大切に、地域に貢献できる生徒を育成する役割を担っていきたいと思いますので、今後共、地元産業界の皆様のご支援とご協力を宜しくお願いします。」と結ばれました。

徳永校長先生、この度は有難うございました。

5月のお祝い



◎会員誕生祝

- 8日 菊池 渉さん
- 17日 松永一義さん
- 20日 落合孝夫さん
- 21日 若槻八十彦さん
- 22日 明田川賢一さん
- 28日 吉井直樹さん

◎夫人誕生祝

- 4日 飯塚みどりさん (一樹さん)
- 15日 明田川みゆきさん (賢一さん)
- 16日 歸山 敬さん (肇さん)
- 24日 小林香子さん (仁志さん)
- 27日 寒河江尚子さん (勝俊さん)
- 28日 小林仁美さん (卓哉さん)

◎結婚記念祝

- 1日 近藤雄介さん (律子さん)
- 2日 若槻八十彦さん (由美子さん)
- 3日 五十嵐博宣さん (美和さん)
- 5日 小越憲泰さん (百合子さん)
- 8日 佐野勝榮さん (美知子さん)
- 20日 菊池 渉さん (まゆみさん)

次週例会 5月17日

「外部卓話」

春日町卯つぎ 代表 渡辺 睦 様

次々週例会 5月24日

「地区研修・協議会報告」

吉井直樹 会長エレクト

